

日本外科代謝栄養学会第 56 回学術集会

The 56th Annual Meeting of Japanese Society for Surgical Metabolism and Nutrition

寄付募集要項

2019 年 3 月更新

ご挨拶

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より格別のご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。貴社の皆様におかれましては、いよいよご壮健のこととお喜び申し上げます。

このたび、神戸大学大学院医学研究科外科系講座災害・救急医学分野は、日本外科代謝栄養学会第56回学術集會を2019年7月4日(木)から6日(土)まで神戸国際会議場にて開催させて頂くことになりました。神戸大学としましては、私の出身医局(現在も在籍中)の神戸大学第一外科の光野孝雄名誉教授が有馬グランドホテルで第9回(1972年)を主幹して以来実に47年ぶりです。伝統と歴史のある本学会の会長を神戸大学の名のもとに務めさせていただきますことを大変光栄で名誉あることと感謝しております。会員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

昨今では外科手技や周術期管理の進歩とともに安全性が著しく高まりましたが、一方で患者の高齢化、併存症の存在などにより思わぬ合併症に直面することも多くなりました。このような症例では、代謝や栄養療法が合併症発生の抑制や長期のQOLに大きく影響します。本学会は、まさにこのような外科侵襲に係る侵襲反応・免疫応答の研究の潮流の原点を作った学会であり、代謝学、栄養学、侵襲学を同時に学問する唯一無比の学会であると思います。今や、侵襲反応、免疫応答を制御することで疾患を治癒・制御する薬剤も開発されるようになり、製薬企業様方、医療機器企業様方にとっても大変有意義な情報を得る研究会であると自負しております。さらに、私が外科医人生の後半を過ごしております救急医療の分野では外科以上に重症症例が多く、本学会は外科医のみならず、多くの救急・集中治療に関わる医療者の方々も参加されますので、御社製品を多くの医療者にお知らせする場としても大いにお役に立てると思います。

このたびの学術集會のテーマは、『エビデンスを超えてゆけ!』としました。これは、並行して開催する外科侵襲とサイトカイン研究会の『エビデンスを掘り下げる!』と対比させています。最近では治療の標準化が重要視され、エビデンスに基づいたガイドラインの作成が盛んです。診療現場でも特に若い人たちは「エビデンスがあるのですか?」という質問がよく出ます。私もいくつかのガイドライン作成に関わってきましたが、研究報告=エビデンスを抽出してメタ解析し、GRADEに従って評価して推奨を作成します。しかし、結局は、単にその治療を行うこと、行わないことが有効である、あるいは有効でない確率が統計学的に有意に(いくらかのパーセンテージだけ)高いということであって、しかし、眼の前の患者さんにとっては有効か無効か、0%か100%なのだと思います。もちろんエビデンスを知っていることは必須です。そのうえで、医療者の職人としての経験、信条(治療選択における考え方、哲学と言ってもいいかもしれません)、そして最後は責任をもつという覚悟を以て治療方針を決めるべきではないかと思えます。患者さんにとってもそのような医療者こそ信頼できるのではないかと思えます。そこで、本学会では、基礎的な研究や臨床的なエビデンスのご発表に加えて、さらにエビデンスを超えてどのように治療方針を決定するか、治療を進めるか、結果をどう捉えるかというテーマのご発表をしていただき、医療者としての心構えなども含めて活発な議論ができるようなプログラムにしたいと考えています。

皆様には本研究会の趣旨に、ご理解とご賛同をいただき、絶大なご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

末筆では御座いますが、皆様のますますのご発展とご活躍を心から祈念いたしております。

謹白

2019年3月吉日

日本外科代謝栄養学会第56回学術集會
会長 小谷 穰治
(神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野 教授)



1.開催概要

- 1) 会議の名称
日本外科代謝栄養学会第56回学術集会
※第26回外科侵襲とサイトカイン研究会 同時開催（予定）
- 2) 会期
2019年7月4日（木）～6日（土）
※NST 医師教育セミナー 5日（金）・6日（土）に予定
- 3) 会場
神戸国際会議場
〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1
TEL：078-302-5200 FAX：078-302-6485
- 4) 会長
小谷 穰治（神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野 教授）
- 5) テーマ
エビデンスを超えてゆけ！
- 6) 大会事務局
神戸大学大学院 医学系研究科
〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5番1号
TEL：078-382-5111（大代表）
- 7) 運営事務局 《問い合わせ先》
株式会社インターグループ内
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル
TEL：06-6372-9345 FAX：06-6376-2362
Email：jssmn56@intergroup.co.jp
- 8) 参加予定者数
国内 約500人
- 9) プログラム（予定）
特別講演、他学会とのジョイントシンポジウム、シンポジウム、ワークショップ 他

3. 寄付金募集要項

1) 寄付の名称

日本外科代謝栄養学会第 56 回学術集会

2) 寄付目標額

500,000 円

3) 寄付金募集期間

2019 年 3 月 1 日から 2019 年 6 月 28 日まで

4) 寄付金の使途

日本外科代謝栄養学会第 56 回学術集会の準備、運営の為の諸費用に充当いたします。

5) 寄付金申込および払込方法

末尾の「寄付金申込書」を運営事務局宛に FAX でご提出いただき、以下振込先にお振込みをお願いいたします。振り込み手数料はご負担願います。

6) 振込先

銀行名：三井住友銀行

支店名：梅田支店 127

預金種別：普通

口座番号：9514157

口座名：日本外科代謝栄養学会第 56 回学術集会 会長 小谷 穰治

ヨ ミ：ニホンゲカタイシャエイヨウガクカイダイゴジ ユロッカイカクジ ユツシュウカイ

カイヨウ コタニジヨウジ

7) 開催費用の調達及び寄付金を必要とする理由

本学会には約 500 名の参加が予想され、学会開催の準備・運営に要する費用は、総額 28,558,800 円が見込まれています。

これらの費用は、本来参加者の会費で賄うべきではありますが、参加者の会費には限度がありますので、経費の相当額は、諸団体および諸会社からの浄財に頼らざるを得ないのが実情であります。28,558,800 円の内 500,000 円を寄付金によって充当したく、諸費ご多端の折柄、誠に恐縮ではございますが、本寄付趣意書をご高覧の上、何卒ご高配の程、お願い申し上げます。

※日本製薬工業協会のおよび日本医療機器産業連合会の「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき「共催セミナー会社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を「学会名」「共催セミナー名」の通りに、貴社のウェブサイト上に公開することに同意します。

寄付金募集期間：2019年3月1日～2019年6月28日

返信先：FAX 06 - 6376 - 2362

日本外科代謝栄養学会第56回学術集会
運営事務局行

日本外科代謝栄養学会第56回学術集会 寄付金申込書

日本外科代謝栄養学会第56回学術集会
会長 小谷 穰治 殿

この度、日本外科代謝栄養学会第56回学術集会の趣旨に賛同し、下記のように寄付致します。

_____万円

《払い込み方法》

- _____銀行_____支店を通じて指定口座に払い込みます。
 その他の方法

年 月 日

貴社名：

ご住所：〒

担当者：

部 課 TEL：

FAX：

E-mail：

領収書（要・不要）